

「第11回 東方学院・酬仏恩講 合同講演会」開催

広く一般の方々の聴講者を募集します（無料）

奈良 法相宗大本山 薬師寺 慈恩殿

2010年11月27日（土）13時～16時

2010年11月8日

財団法人 東方研究会・東方学院

法相宗大本山薬師寺内 酬仏恩講

財団法人東方研究会・東方学院（東京都千代田区外神田）では、法相宗大本山薬師寺内酬仏恩講（奈良市西ノ京）と共催で、「第11回東方学院・酬仏恩講 合同講演会」を11月27日（土）、奈良 法相宗大本山薬師寺慈恩殿にて開催。広く一般の方々より聴講者を募集いたします（聴講料無料）。

今回の講演プログラムは東方研究会アジア諸国派遣留学生の細野邦子氏が帰朝報告を兼ね、インド論理学と西洋論理学との比較について、東方学院関西教室講師の勝本華連氏が社会人から尼僧となられたご自身の経験も踏まえて縁起の法についてそれぞれお話しいたします（各60分）。

●開催概要

【日時】 2010年11月27日（土） 13時～16時

【場所】 奈良 西ノ京 法相宗大本山薬師寺 慈恩殿

【主催】 東方学院／酬仏恩講

【後援】 法相宗大本山 薬師寺

●プログラム

【開会の挨拶】 前田 専學（東方学院長・東京大学名誉教授）

【講演】 細野 邦子（東方研究会研究員・東方研究会アジア諸国派遣留学生）

「東洋の論理と西洋の論理—比較論理学序説」

【休憩】

【講演】 勝本 華連（東方学院講師・叡山学院講師・姫路市立生涯学習大学校講師）

「縁（えにし）と縁起の法」

【閉会の挨拶】 松久保 秀胤（薬師寺長老）

【読者の方のお申込み方法】

住所、氏名、電話番号を明記の上、葉書またはファックスにて下記宛てお申込み下さい。

〒630-8563 奈良市西ノ京町457 薬師寺内 「東方学院・酬仏恩講」係

ファックス 0742(33)6004

※定員100名になり次第締め切りとさせていただきます

お問い合わせ先：（財）東方研究会 事務局 TEL. 03(3251)4081/FAX. 03(3251)4082

<本資料に関するお問い合わせ先>

スポンタネアティ 笛 木(ふえき) TEL&FAX. 03(5912)6621

財団法人 東方研究会 事務局広報 金 子(かねこ) TEL. 03(3251)4081/FAX. 03(3251)4082

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-17-2 共和ホームズ4階

尚、お手数ですが、ご掲載の際にはご一報賜りますようお願い申し上げます。

<参考資料>

講演テーマ① 「東洋の論理と西洋の論理—比較論理学序説」

講演者 : 細野 邦子 (ほその くにこ)

略 歴 : 昭和 36 年大阪府生まれ。
東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻博士課程単位取得満期退学。
國學院大學講師、千葉県立衛生短期大学講師等を歴任。平成 8 年より東方研究会研究員。
平成 21 年度東方研究会アジア諸国派遣留学生としてジャワハルラル・ネルー大学 (インド、ニューデリー) で開催の First Asian Philosophy Congress に参加のため派遣。

専 攻 : インド哲学・論理学

主な論文 : ‘Necessity in the Nyāya-school’、『印度學佛教學研究』第 49 巻第 2 号、2001 年 3 月
「ニヤーヤ学派における虚名辞」、『中世インドの学際的研究』、2005 年 3 月
‘Sattva Prameyatva Abhidheyatva in the Nyāyavārttika’、『印度學佛教學研究』
第 54 巻第 3 号、2006 年 3 月

講演テーマ② 「縁 (えにし) と縁起の法」

講演者 : 勝本 華連 (かつもと かれん)

略 歴 : 昭和 30 年大阪府生まれ。平成 3 年、天台宗青蓮院門跡にて得度。佛教大学文学部仏教学科卒業、京都大学大学院文学研究科文献文化学専攻博士課程単位取得退学。博士(文学)。花園大学非常勤講師、叡山学院専任講師、スリランカ国立ケラニヤ大学パーリ学仏教学大学院客員研究員等を経て、現在、東方学院講師・叡山学院講師・姫路市立生涯学習大学校講師。

専 攻 : インド仏教学・パーリ学

主な著作 : 『座標軸としての仏教学—パーリ学僧と探す「わたしの仏教」』佼成出版社、2009 年 5 月
『チャリヤーピタカ註釈—パーリ原典全訳—』(ラトナ仏教叢書Ⅱ) 国際佛教徒協会、2007 年 9 月
「菩薩になる条件と祈願—南伝と北伝の比較—」『日本仏教学会編 仏教における祈りの問題』平楽寺書店、2005 年 12 月

主な論文 : 「燃灯仏授記と『ブッダヴァンサ』の成立」『印度學佛教學研究』第 58 巻第 2 号、2010 年 3 月

「Cariyapikakathā と Bodhisattvabhūmi —パーリ註釈書にみられる瑜伽行派の思想」、

『佛教研究』第 34 号、2006 年 3 月

「パーリ仏教と大乘の境界線」『村中祐生先生古稀記念論文集 大乘佛教思想の研究』山喜房佛書林、2005 年 6 月

【東方学院・薬師寺内酬仏恩講 合同講演会の経緯】

東方研究会には1981年、アジア諸国へ留学生を派遣する制度が作られました。これは、「若い留学生をアジア諸国に送り、佛教思想の源流を解明し、将来のわが国の文運に資することを念願」とされた篤志家の方の尊い熱意と経済的援助によるものです。この制度が作られてからこれまで合計47名の研究員が派遣され、実地の調査を踏まえた着実な研究推進を行ってきました。一方、薬師寺では、同篤志家の方が30年ほど前に仏恩に報いるためにインドの有名なバンダルカル東洋研究所に対して、仏教聖典の一大叢書である『大正新脩大蔵経』を寄贈される際に薬師寺内に酬仏恩講が作られました。こうした経緯から、1999年に組織を変更。より恒久的な事業とするために酬仏恩講を事務局として、東方研究会のアジア諸国へ留学生を派遣する制度を存続。以来、毎年、派遣留学生の帰朝報告を兼ねた合同講演会を開催し交流を重ねてきました。

【これまでの合同講演会（2001年～2009年）】

- | | | |
|------|-------------------------|---|
| 第1回 | 前田 專學
松久保 秀胤
金 漢益 | 「中村元先生の人とご業績」
「玄奘三蔵法師の唯識論」
「現代スリランカ上座仏教における虚と実—現地調査を中心として—」 |
| 第2回 | 田辺 和子
藪内 聡子 | 「中村元先生からいただいた学恩」
「スリランカ森林寺院をたずねて」 |
| 第3回 | 山口 恵照
茨田 通俊 | 「インド思想を概観する—全人類解放の教え—」
「宗教における寛容ということ」 |
| 第4回 | 西尾 秀生
仲宗根 充修 | 「明治仏教の復興運動について—オルコット大佐の貢献—」
「現代スリランカの社会と仏教」 |
| 第5回 | 林 慶仁
長崎 法潤 | 「故国を離れたチベット仏教」
「自燈明・法燈明の教え」 |
| 第6回 | 吉村 均
畠中 光享 | 「ネパールで学んだこと—インドからチベットに受け継がれた智慧—」
「仏のかたち」 |
| 第7回 | 田辺 和子
荻谷 定彦 | 「タイの人々に信仰されているジャータカ」
「法華経の心を求めて—常不軽菩薩の話—」 |
| 第8回 | 堀田 和義
橋本 哲夫 | 「現代のジャイナ教教団について—仏教の「姉妹宗教」—」
「おジャカさまの悩み」 |
| 第9回 | 目片 祥子
西岡 祖秀 | 「11～13世紀のチベット仏教史—サキャ派を中心として—」
「ティク・ナット・ハン師の社会参加仏教」 |
| 第10回 | 立花 弥生
沖本 克己 | 「『玄奘三蔵絵』の背景にあるもの—『春日権現験記絵』との関連から—」
「奈良の寺々」 |

《東方研究会と東方学院》

財団法人東方研究会は、文化勲章受章者・東京大学名誉教授の中村元（1912～1999、島根県松江市生まれ、哲学者、宗教学者）が私財を投じ、仏教学やインド哲学などの東洋思想を軸として、真理探究および人間性の回復を目指して設立し、1970年11月に文部省より認可を受けました。その後、研究成果の普及を目指し、1973年に東方学院を設立、真に学を究め、道を求めたい人に開かれた研究の場を提供してきました。創立者中村元の没後は、その薫陶を受けた学者たちが結束し、自ら運営をしています。

現在では、学士院賞受賞者・東京大学名誉教授の前田專學（インド哲学者、宗教学者）を財団法人東方研究会理事長・東方学院長として、研究員34名、連携研究員80名、研究会員（東方学院受講者）210名を有す

る学术団体となりました。